



 SAIJO INARI

最上稲荷

×

OHGUSHI

八大龍王尊「雲龍図」特別公開

2023.6.29(thu)-7.20(thu)

第2回 八大龍王尊「雲龍図」特別公開

「雲龍図」は、最上尊の脇神である八大龍王尊を、墨絵画家である OHGUSHI 氏が描き上げた襖絵です。八大龍王尊の大祭である夏季大祭(2023年は7月16日開催)にあわせ、最上稲荷山妙教寺大客殿にて期間限定で公開します。圧巻のお姿を、ぜひご覧ください。

会場：最上稲荷山妙教寺 大客殿 ※寒松庭も拝観いただけます

期間：2023.6/29(木) - 7/20(木) 10:00 - 15:00

入場無料
(観覧期間のみ)



紙本墨画淡彩、襖8面 全長：縦183cm×横972cm 構想、ラフ制作：2016-2019 筆入れ期間：2020.2-2021.10

■作家紹介

OHGUSHI / 墨絵、水彩アーティスト

<https://ohgushi.jp>

水墨画スタイルの美人画、花や自然美を描く独自の水彩画、二つの技法を柱とし、グローバルブランドの広告を数多く手がける。05年 N.Y.ADC 賞。

主な仕事に、サントリー「Roku」「碧 Ao」、資生堂「TSUBAKI」、マックカフェ、伊勢丹、EMILIO PUCCI、adidas、LANCÔME、CLINIQUE、Vogue Japan など。



■作家コメント

1200年前から普遍的に地域の人々に愛される最上稲荷。私はその光景に感銘を受け、「数百年先も受け継がれるに相応しい作品を全身全霊を捧げ制作し、この寺院に納めたい」という希求に駆られ、襖絵の奉納を申し出ました。

水を司る八大龍王尊の姿は、人々に恵みを与える清らかな水そのもので表現したいと考え、すべての人に愛される、美しいクリスタルのような姿を目指しました。同時に、「日本画材の伝統を守りながら、様式美は独自でありたい」という思いから日本の古典的な龍神の表現を避けました。作品右側の嵐は現在の困難な社会情勢(コロナや紛争)を表現し、一方で、作品左側の空白は光を表しています。これは「全人類が明るい未来へ向かうように」という願いを込めています。約6年をかけて制作した本作、是非多くの方々にご覧頂きたいです。

公開期間中

「雲龍図」の襖絵を模した特別御朱印を授与いたします。

授与価格
1,500円以上

お問い合わせ

最上稲荷山妙教寺(総務部)
TEL 086-287-3700

日本三大稲荷

最上稲荷



〒701-1331 岡山市北区高松稲荷 712

